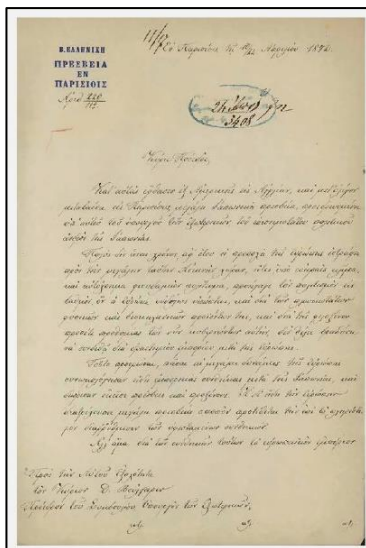


あつぎ郷土博物館NEWS8月号

好評
開催中

特別展「アーネスト・サトウ、F・ベアト、八雲、暁斎で
知る幕末・明治」③

ベアトと大使館の世界



「在パリ・ギリシャ大使アレクサンドロス・リゾス・ラヴィスの書簡」。日本で暮らす「ベアトス」なる人物を在日ギリシャ領事館に指名したこと、日本在住のギリシャ人の日常生活、活動について書かれたものです。ベアトスとは、イタリア生まれのイギリス人写真家で、文久3年(1863)に来日したフェリーチェ・ベアト(1832-1909)のこと。ベアトは、日本で撮影した写真をアルバムにまとめ、外国人向け土産品として販売したことでも知られた人物。写真撮影の他にもさまざまな事に興味を持ち、不動産、金融投機の様子は『ジャパン・パンチ』(下写真)にも興味深く描かれています。

そのベアトですが、幼少時に家族でギリシャのケルキラ島に住んでいたことから明治6年(1873)8月6日に駐日ギリシャ総領事に任命されています。その一年前の明治5年4月10日付の書状では在パリ・ギリシャ大使がベアトを領事へ指名しています。本書状は、日本とギリシャ間の外交関係構築において最初期の状況が分かる貴重な資料です。

展示される書簡の画像は本展示会のため、ギリシャ大使のご尽力によりギリシャ本国から取り寄せていただいたものです。特別展「アーネスト・サトウ、F・ベアト、八雲、暁斎で知る幕末・明治」の会期中、ギリシャ大使館協力のもと以下のようなイベントを実施します。ご参加お待ちしております。

●講座「ギリシャと日本」

日 時 8月21日(金) 1時30分から2時30分まで

講 師 ギリシャ大使館職員

定 員 50人

場 所 あつぎ郷土博物館体験学習室

申込み 不要。先着順

●ギリシャ大使公邸訪問

日 時 8月24日(月) 12時50分から5時まで(あつぎ郷土博物館集合、解散)

内 容 小中学生に向けたギリシャと日本の関係、大使館の仕事について

定 員 小学生、中学生とその保護者10組20人

参加費 無料

申込み 8月13日までにあつぎ郷土博物館又は講座予約システムへ

その他 借上げバスでギリシャ大使公邸へ向かいます。



あつぎ郷土博物館 8月の予定

日	曜日	行 事 内 容	講師等	時 間
特別展「アーネスト・サトウ、F・ベアト、八雲、暁斎で知る 幕末・明治」9月23日まで開催				
5	水	特別展解説 アーネスト・サトウ<参加自由>	英国大使館職員、担当学芸員	13:30 ～14:30
7	金	特別展講座 アイルランドの文化と音楽 <参加自由>	アイルランド大使館職員	13:30 ～15:30
11	火	特別展ギャラリートーク	当館学芸員	13:30 ～14:30
13	木	あつぎの古文書解読会 <参加自由>	古文書解読会 会員	13:00 ～16:00
20	木	あつぎの古文書解読会 <参加自由>	古文書解読会 会員	13:00 ～16:00
21	金	特別展講座 ギリシャと日本<参加自由>	ギリシャ大使館職員	13:30 ～14:30
24	月	特別展講座 ギリシャ大使公邸訪問<参加申込制>	ギリシャ大使館職員	12:50 ～17:00
27	木	あつぎの古文書解読会 <参加自由>	古文書解読会 会員	13:00 ～16:00
31	月	休 館 日		

事業
案内

民俗資料の利用例を紹介！

博物館では、多くの民俗資料を所蔵しています。資料によっては展示だけでなく出前展示、触察展示、他館貸し出しなど通常の展示以外にも利用しています。今回ご紹介するのは、認知症の人を抱える家族 すみれ会の民具活用法。以下、同会・岡野さんの感想です。

実際に見て・触って話をする資料としての蚊帳は最高でした。広げると「あら懐かしい」「蚊帳吊りは子供の仕事」など数多くの言葉が飛び交いました。後半のグループ・セッションでも「入る時は蚊が入らぬようにこうやって入る」など、20数名が蚊帳を囲み、和やかな会話が交わされました。



- あつぎ郷土博物館 開館時間 午前9時から午後5時まで(入館は午後4時30分まで)
休 館 日 毎月最終月曜日 年末年始(12/29～1/3)
- 古民家岸邸 開館時間 午前10時から午後5時まで(入館は午後4時30分まで)
休 館 日 月曜日と火曜日(祝日の場合は翌平日) 12/25～1/3



(申込み・問合せ) あつぎ郷土博物館

〒243-0206 厚木市下川入 1 3 6 6 - 4 電話 046-225-2515

Mail 8650-3@city.atsugi.kanagawa.jp

FAX 046-246-3005